

学校だより 米東の子

出水市立米ノ津東小学校 令和4年11月号



みんな誰かのために役立っているね

校長 唐仁原 宏樹

「校長先生。実は大変なことになっているんですよ…。」

先日、6年担任が校長室に来て、上記のような話を切り出しました。「何か困ったことでも発生したのかな？」とちょっと緊張しながら話を聞き始めると、実は、ちょっと素敵な話でした。

先月、6年生は修学旅行で訪れた熊本城で、観光客の方に、自分たちが総合的な学習の時間の「米東プロデュース」で調べた出水や米ノ津のよさをまとめた観光パンフレットを配布しました。ラミネート加工されたパンフレットを、飛び込みで恐る恐る…でも、きちっと一生懸命、真摯に話している姿が印象的でした。

翌日以降、そのパンフレットをもらった方からたくさんのお手紙が6年生に届きました（実は、その反響の数と大きさに対する喜びから6年担任は「大変なこと」と言ったのです…）。神奈川県相模原市の方からはメールで、そして、何と！札幌市の御夫婦からは丁寧なお手紙とともに図書券5,000円分も同封されていました。その両方とも、パンフのよさや鶴のこと、おれんじ鉄道のことなど、出水市が素敵などころであることを認識できてよかったことなどが書いてありました。

「自己有用感」という言葉があります。自己有用感とは、自分が誰かの役に立っているという感覚のことです。これは自分一人では得られません。例えば、家族の手伝いをして「ありがとう」と言われたり、進んで教室の掃除をして褒められたりするなど、誰かの役に立って、プラスになったという事実に対して、前向きな声掛けをすることで自己有用感が高まります。自分は役に立つ！と感じられるようになるためには、役割を与え、その結果を評価することが大切なのです。今回紹介した6年生の修学旅行での出来事は、自分で学習したこと、調べたことを「まとめ」それだけにとどまらず「発信」し、その成果として評価されています。きっと今回のことで、「自分の調べたことが、出水市のPRという役に立っている！」という自己有用感を味わうことができたのではないかと思います。

2学期も残り1カ月ほどになりました。何かと慌ただしい時期になりますが、生活の様々な場面で「自己有用感」を子供たちに味わわせる場面は、家庭でも学校でもたくさんありそうです。



熊本城でのパンフレット配布の様子です。子供たちが一生懸命PRしていました。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間 ～多くの方に見に来ていただきました。ありがとうございました～

校舎玄関に設けた受付名簿を拝見すると、62名の方にお越しいただいたようでした。見学の際に、校舎入り口での検温、マスクやネームの着用等に御協力いただき、ありがとうございました。「どのように計算を習っているか、流れを見ることができてよかった」「質問をしたり、お友達と話し合ったりしていて、よい雰囲気でした」などの感想をいただきました。

県民週間中、下記のような行事（イベント）等を実施しました。子供たちや来場した皆様の心に届いていれば幸いです。



学校保健委員会では、志學館大学の松本宏明先生に、ゲームやメディアとの適切な付き合い方と保護者の関わり方等について御講演いただきました。ルール作りのポイント等を、具体的に非常に分かりやすく話していただきました。

5年生が「弁護士によるいじめ防止授業」を行いました。実際に弁護士の方に来ていただき、いじめられてる人を見かけたら声をかける大切さなどを話していただきました。授業の様子は、南日本新聞に掲載されました。



1,3,5年生が「人権教室」を受講しました。人権擁護委員の方に来ていただき、思いやりの気持ちの大切さ、ネットとの適切な付き合い方等を話していただきました。この教室は、昨年度から実施しています。

11月に「すこやかミーティング」を開催しました。11月には3回設定しましたが、年間を通して毎週木曜日は教育相談日なので、子供さんのことで御相談のある方はお越しください。

鹿児島県市町村による青少年劇場 ～本校全校児童と切通小学校の児童が集まって体育館で観劇しました～

「鹿児島県市町村による青少年劇場」が11/10(木)に、本校体育館で開催されました。劇団「野ばら」の方が「あした あさって しあさって」という劇を見せてくださいました。主人公が優しい気持ちを取り戻すまでの姿や周りにいる友達の「寛容な気持ち」の大切さを感じることができました。子供たちにとって、久しぶりの青少年劇場でしたが、素敵な芸術に触れることで、子供たちの心の栄養になったと思います。



劇団の方が表情豊かに、声色を変えながら一生懸命演じる様子を、子供たちも真剣に見ていました。

研究授業の秋！～授業を通して学んだことを力に～

10月～11月にかけて、フレッシュ研修の先生方（正式採用1年目～3年目）が研究授業等を行いました。それぞれの先生方が、子供の実態や発達段階を考えながら、熟考して授業の進め方や板書計画を練り、教具等を作成しました。研究授業で得たことが教師としての力になり、子供たちに還元できればと思っています。



左から前田教諭(1年目 道徳)、西迫教諭(2年目 国語)、南教諭(3年目 道徳)の研究授業の様子。子供と一緒に落ち着いて授業に取り組みました。

※ 11月17日(木)に本校で、北薩地区研究協力校研究公開(学力向上)が行われました。北薩地区の先生方を中心に、多くの先生方に来ていただきました。その様子については、次号でお伝えします。

校内でのけが等での保健室来室状況

11/1(火)～11/16(水)の校内でのケガの状況 延べ人数(158人)			
擦過傷	49人	打撲	46人
ねんざ、つき指	22人	切り傷	17人
絆創膏措置	2人	その他(鼻血、さかむけ、ひっかき傷等)	22人

※ 天気がいい日が続いたせいか、外遊びをする子が増えています。それに伴い、擦過傷や打撲のけがが多くなっています。体育の授業でも準備運動をしっかりと行っていきます。

☆受賞・入賞おめでとう☆

◇ 令和4年度子どもの読書活動推進優良校 県教育委員会表彰 米ノ津東小学校

◇ 出水市小学生陸上記録会(6年生のみ参加)

- ・6年女子走り高跳び【第2位】溝添 紗姫 【第3位】山本 煌華
- ・6年男子60mハードル【第2位】中村 良太朗
- ・6年女子400mリレー【第3位】溝添 紗姫、山本 煌華、遠竹 せいら、鈴木 明里咲

◇ 第9回あんしん財団こども作文コンクール【佳作】前田 珠稀(5年)

◇ JA共済作品コンクール書道の部【佳作】田畑 ちひろ(3年)

◇ 第13回税に関する絵はがきコンクール

【入賞】坂本 実優、諏訪 蒔桜里、湯元 希実香(いずれも6年)

◇ 第6回「ひろがれ未来へ！かごしま絵手紙コンクール」

【奨励賞】麦生田 侑詩(3年)

◇ 出水市環境ポスター・標語作品展

【優秀賞】高桑 和桜(4年)【入選】明阪 菜々美、松島 さわ(いずれも4年)

日頃の読書活動が認められて県教委から表彰していただきました！

《12月末までの主な行事予定》

- 11月24日(木) 避難訓練(火災)
- 11月25日(金) 米ノ津中学校入学説明会
- 11月29日(火) 就学時健康診断(全学年4時間授業)
- 11月30日(水) 授業参観、学級PTA(B校時)
- 12月10日(土) 校内持久走大会(前半:1,3,5年、後半:2,4,6年)
- 12月12日(月) B校時(～16日まで)
- 12月23日(金) 終業式、大掃除(給食なし)

